

# EV・PHVの普及へ 教習所で試乗イベント

次世代自動車振興センター

次世代自動車振興センター（杉浦精一代表理事）は2日、柏南自動車教習所で電気自動車（EV）とプラグインハイブリッド車（PHV）の広報普及のため、「EV・PHVがやってみるー乗ってみー」を開催した。

の影響を受けにくい海外向けの自動車や自動車関連は堅調に推移。電子・デバイスも海外のスマートフォン向けの生産が東北、東海、中国、九州で



「なごやわからない。」をテーマに、試乗イベントを開催した。

## 新製品ニュース

カーナビアプリ ミックウェアはアンドロイド OS 向けカーナビアプリ「G:O Hybrid Navi」のサービスを開始した。ドライブの時間帯や走行場所、運転状況などのシチュエーションを検出し、シーンに応じてBGMを自動的に切り替える「ドライブ・シンクナイザー」機能を搭載している。通常月額300円で、先行導入したiPhone版とともに新規ユーザー対象の1カ月100円キャンペーン（1千人もしくは1カ月間）も実施中。



ナビタイムジャパンはアンドロイド OS 向けカーナビアプリ「カーナビタイム」で提供している「ボイスコントロール」に、道路交通情報を発話する機能を追加した。「この先の渋滞情報を教えて。」などの質問に対し、渋滞、混雑、通行止などの道路交通情報を回答。ユーザーの知りたいタイミングで、知りたい場所に限定した情報を得られる。

### 教習生体験する試乗

自動車教習所に通っている次世代のドライバーをはじめ、地域の住民、団体、企業を対象に、EV・PHVの特有の加速感、静粛性を体験することに。理解を深め、インフラ整備の重要性を認識してもらうことを目的に開催した。

教習中の仮免許取得者には教習所のコースを運転する「コース内試乗」、免許取得者には「路上運転試乗」、また、運転に自信がない、免許を持っていない人には、「同乗試乗」ができるなど幅広い試乗メニューが用意された。

次世代自動車振興センターの荻野法一リーダーは「充電設備の設置に、国から補助金の支援があるというのを理解してもらったため、昨年、テストケースとして開催した。結果は予想以上の手応えがあり、今年も開催することになった。EV・PHVは乗ってみて初めてその魅力が分かることができるので、教習所でイベントを開催できたことは今後の普及に貢献できると手応えを述べた。

試乗した教習生からは「静かで、EVは力が強いイメージだったが加速が良かった」（20歳男性）、「気がついたら速度が出ていた」（31歳男性）、「ガソリンより配安いため購入の対象となる。充電設備については気にならない」（21歳男性）など、感想が寄せられた。

同イベントは11月まで全国24カ所の自動車教習所で開催し、接触人数2万人、試乗者数25000人を目指す。またシンポジウムにあわせた試乗会も計画している。